

日塗工 整理No.(日塗工記入)		2015-21		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2015年 2月 25日(水) 9時 30分 天候(晴) 温度(°C)湿度(%)			
災害区分		不休災害 (休業災害 (休業:5日))			
被 災 者	部門	構内協力会社		雇用形態 正社員、派遣、契約、 <u>その他</u> (協力会社)	
	年齢	61 歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 46年	経験年数 46年
	傷病名	病名 (捻挫)			
	傷病部位	左股関節			
災 害 発 生 状 況	①工場内で防爆非常用蛍光灯器具の交換工事をしていた。		状況概略(写真orイラスト) 		
	②脚立を立てて上る途中で脚立が滑り、危険を感じたため慌てて1.7mの高さのところから飛び降りた。				
	(脚立が滑った原因は不明だが、脚立を立てた時、床は散水されていた。)				
災害の型 ^{※1} 1 墜落・転落		作業の形態: 定常、 <u>非定常</u> 、その他()			
起因物: 脚立		特記事項 特になし			
原 因 分 類	1.人的要因(man):脚立での一人作業、安全带未着用				
	2.物に関する要因(machine):特になし				
	3.環境要因(media):濡れた床				
	4.管理的要因(management):特になし				
対 策	①3.0m以上の高さのものを触り作業をする際の昇降時は、一人が脚立を押さえて二人作業で行なう。 また、当然ではあるが高所作業時は安全带を確実に使用する。 万が一、脚立を押さえる人がいない場合は、作業場所の近くにいる人に声を掛けて押さえてもらう。				
	②-1脚立を使用する場合は、当該職場に脚立の使用が終わるまで散水を止めてもらうようにする。				
	②-2脚立を上る時は、周囲の状況を確認し、散水され濡れていたらウエスカモップで拭き取って乾いてから上る。				
	対策分類 ^{※2} : 1-2 災害・事故の想定と対応、1-6 教育、2-4 危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)